【校区の概況】

学区には魚野川、三用川が流れ、水田も広がる自然豊かな地域である。また、幕末の巨匠石川雲蝶の彫刻群で知られる西福寺開山堂があり、多くの観光客でにぎわっている。

地域の北には関越自動車道小出インターが、南には上越新幹線の浦佐駅があり、国道 17 号線が南北に縦断しているため交通量が非常に多く、児童の交通事故等に十分注意をしていかなくてはいけない地域である。

学区は、旧小出町の南部８地域からなるが、そのうち１地域は令和元年度からは児童がいる世帯がなくなった。保護者は、両親とも仕事を持っている割合が多いため、学童保育を利用している児童が増えている。

八海自由大学に象徴されるように、学区は、伝統的に教育に関心の高い地域である。その気風は今も生きており、地域や保護者の教育に対する関心は高い。そのため、運動会や学習参観などの学校行事には多くの保護者の参加がみられる。さらに、学校の諸活動には献身的に協力してくださる。